

経営比較分析表

佐賀県 みやき町

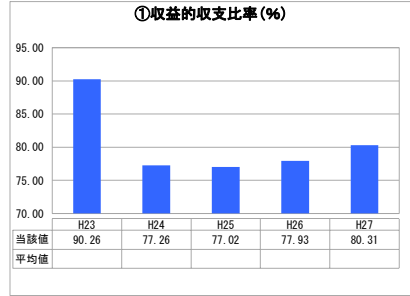
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.11	100.00	3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,553	51.92	492.16
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,049	0.50	2,098.00

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 平成27年度全国平均

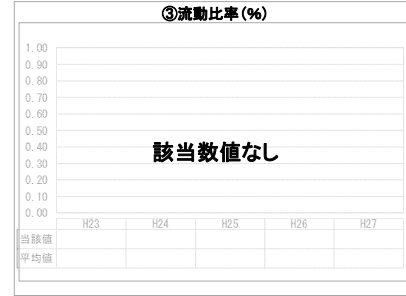
1. 経営の健全性・効率性



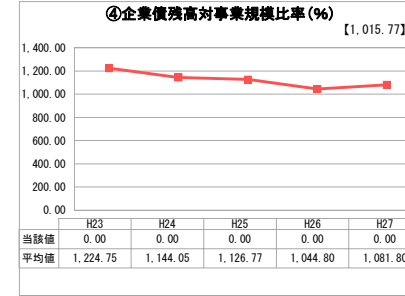
「単年度の収支」



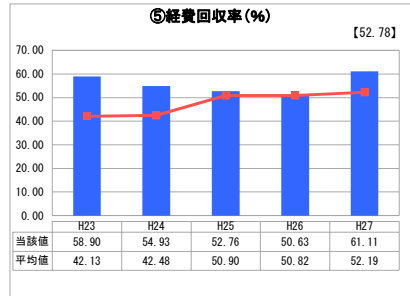
「累積欠損」



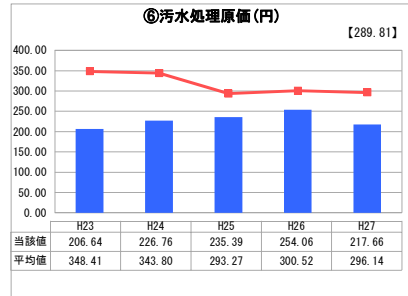
「支払能力」



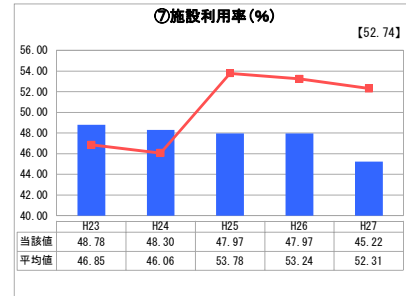
「債務残高」



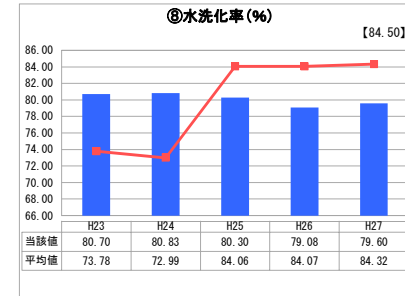
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

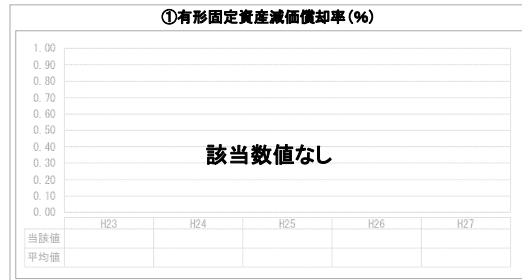


「施設の効率性」

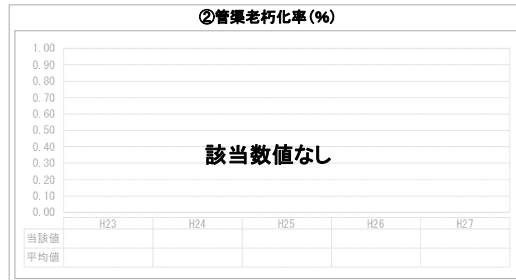


「使用料対象の捕捉」

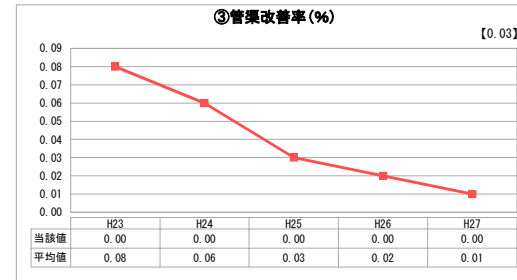
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、平成14年度で2処理区の整備が完了し、現在は維持管理運営のみとなっている。施設利用率・水洗化率はここ数年横ばい状況だったが、町全体の人口減少や、特に整備区域が中山間地域を含むことから高齢世帯・単身世帯が多い中で休止・廃止が相次いだことに伴う使用人口の減少により率も下降傾向にある。管理費用については効率化をすすめ、削減に努めているが、使用料の増収対策としては未接続者への加入啓発を強化する必要がある。

2. 老朽化の状況について

先行して整備した処理区域は平成10年に供用を開始し17年目を迎える。これまで老朽化対策は実施していないが平成26年度より補助事業である『機能強化事業』の採択を受け、機能診断をおこない、平成28年度より施設の更新を計画的に実施する。

全体総括

本事業の経営は困難を極めていると言える。多少の新規加入では経費回収率を上げることはできず、人口増による増収も現実的とは言えない。料金改定を検討する必要があるものの、公共下水道を整備している中で、本事業のみの値上げは困難であり、後年度での公共下水道整備区域への編入をすることで浄化センターの維持費削減や新規加入を見込み、経営安定化を図ることを検討している。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。